

【豊能町】

校務DX計画

1. 「校務DX化チェックリスト」による自己点検結果の結果における課題等について

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校向け）」自治体別達成状況によると、本町は261.7点（大阪府平均400.2点）を大きく下回っていた。原因として、保護者連絡、宿題や教材等のクラウド化や、授業研究会や校内研修のクラウド化が進んでいないことが主な要因として考えられる。

クラウド化が進まない要因として、本町は令和8年4月に学校の統廃合が控えており、校内ネットワークの整備がこのタイミングでしかできず、各小中学校に安定した高速ネットワークが整備できていないこともクラウド化を阻んでいる大きな要因の一つと考えられる。

また、FAXの使用や押印・署名が必要なものに関する書類は依然としてあるのが現状である。

2. 校務DXの今後の方針について

令和8年4月には、学校の統廃合に併せて国の推奨する速度帯域を満たした校内ネットワークを構築する予定である。これまで、ネットワークに遅延があったり、速度が遅かったりすることで、デジタル化やクラウド化へ移行できなかったこともあるため、これを機に校務のDX化を加速させていく。

また、FAXの使用や保護者・外部とのやりとりに押印・署名が必要なものも依然としてあるが、FAXの使用や押印・署名が必要なものに関する書類を減らし、クラウド化・デジタル化していくことで更なるペーパーレス化を促していく。